



特集 赤平市の防災と救急

がんばろう●日本

3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が東北地方を中心とした東日本で発生し、最大震度7、さらには9メートルを超す大津波により死者1万5,636人、負傷者5,699人、行方不明者は未だ4,808人という未曾有の大災害が発生しました。(8月1日現在・首相官邸発表による)
赤平市においても「災害発生の少ないまち」という認識は捨て、あらゆる災害への備えが必要です。

EMERGENCY
LEVEL **3**

EMERGENCY
LEVEL **2**

EMERGENCY
LEVEL **1**

赤平市における3つの
避難情報

避難指示
避難勧告より拘束力が強く、災害前兆現象などから地域の皆さんに対する危険が目前に切迫しているときに発令する情報です。
避難指示が発令されたら隣近所で協力し合い、直ちに避難所へ避難してください。

避難勧告
避難勧告とは、通常の避難行動が可能な住民等が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況に発令する情報です。
その地域の住民等を拘束するものではありませんが、速やかに避難所へ避難するよう促すための情報です。

避難準備情報
避難準備情報とは、災害時要援護者(※1)のために、通常の避難勧告や避難指示に先だつて発表し、いち早く安全な場所に避難してもらうための情報です。
また、災害時要援護者以外の方も、避難の準備をしてもらうために発表する情報です。
(※1)災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々。一般的にひとり暮らしや寝たきり等の高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊婦等が考えられます。

赤平市では、災害が発生し、住民の皆さんの避難が必要であると市長が判断した場合は、広報車、消防車などで避難情報をお知らせします。避難情報には次の3つの種類があります。(市から避難の情報が出ているときでも、危険を感じたら自主的に避難をしてください。)

「防災・危機管理e-カレッジ」
防災に関する学習サイトです。ぜひ
一度、アクセスしてみたいです。
URL: <http://www.e-college-fdma.go.jp/>



赤平市では、避難所生活を余儀なくされるような大規模な災害が発生したときのために、非常食、飲料水等を備蓄することとなりました。しかし、皆さんのご家庭でも最低3日分の食糧、飲料水を確保しておいてください。
また、非常持出品を準備しておく、いざ避難所生活を送らなければならないときに非常に役に立ちます。
日ごろから非常時の持出品を用意しておきましょう。

知識と心構え

災害には多くの種類があります。地震、風水害、土砂災害など、それぞれの災害によって被害が違います。日ごろから防災に関する知識を養いましょう。
「生涯学習出前講座(防災対策)」や総務省消防庁が運営する「防災・危機管理e-カレッジ(防災に関する学習サイト)」などを利用するとよいでしょう。
「赤平では大地震は起こらない」と決めつけず、いざというときのための心構えを持ち、家族や地域で打合せをしておきましょう。

な



備

蓄

最低3日分は
確保しましょう！



人間にとって水は大切です

非常持出品チェックリスト

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---|-----------------------------------|
| ☐ リュックサック | ☐ 携帯ラジオ | ☐ 懐中電灯 | ☐ 現金 |
| ☐ 乾電池 | ☐ 免許証 | ☐ 保険証 | ☐ 権利証書 |
| ☐ 預金通帳 | ☐ 印鑑 | ☐ 乾パン、缶詰 | ☐ 栄養食品 |
| ☐ 離乳食 | ☐ 粉ミルク | ☐ ドライフーズ | ☐ インスタント食品 |
| ☐ 下着、上着、靴下 | ☐ 洗面用具 | ☐ 軍手 | ☐ 雨具 |
| ☐ ビニール袋 | ☐ 生理用品 | ☐ おむつ | ☐ 缶切り、栓抜き |
| ☐ ライター | ☐ 紙皿、紙コップ | <p>～備えあれば憂いなし～</p> <p>ここに掲載したものは一例です。用意するものは人によって違いがあります。自分の生活に合ったものを用意しましょう。</p> | |
| ☐ わりばし | ☐ ろうそく | | |
| ☐ ロープ | ☐ ティッシュ | | |
| ☐ ヘルメット、帽子 | ☐ 包帯・ばんそうこう | | |
| ☐ 目薬 | ☐ 鎮静剤、解熱剤 | | |
| ☐ 傷薬、胃腸薬 | ☐ 消毒液 | | |
| ☐ 持病の薬 | | | |



平成22年3月発行
洪水ハザードマップを
活用しましょう！！

▼危険箇所の確認

洪水ハザードマップなどに掲載されている「浸水想定区域」「土砂災害危険区域」などを確認しておきましょう。危険な箇所を知らなくては、いざというときに適切な行動をとることが大変難しくなります。普段から危険な箇所の状態を確認しておきましょう。

▼避難場所や避難経路の確認

普段から「どこへ避難すればいいのか」「どの道を通って避難すればいいのか」など、ご家族やご近所同士で避難について話し合っておきましょう。

赤平市で行われている訓練

赤平市では、いつ起こるかわからない災害や火災等に備え、様々な演習・訓練が行われています。

総合防災訓練



火災防御訓練



消防演習